



そしん

第36号


発行/社会福祉法人 素心会
責任者/広報委員長 彦坂 健一郎
〒259-0103
神奈川県中郡大磯町虫窪24番地
TEL.0463-71-1255



地元 虫窪地区の
おみこしが
やってきた



虫窪24番地

大磯町に移転してきて初めて素心会のグラウンドに、地元虫窪地区の御神輿がやってきた。威勢のいいかけ声に、利用者共々関心が入った。

長い時間の積み重ねと地域のみなさんの理解があつて、御神輿が来てくれた。それだけに素心にとっては忘れられない日になった。

グループホームでは、近所の方が収穫した野菜を届けてくれる。地域の役員の方が、お祭りのカラオケ大会に声をかけてくれる。またピアノやゲートボールを教え、でもらっている人がいる。時には苦情が舞い込むこともある。これらは地域で生活している証だと思ふ。

地域で生活するということは、く当たり前のことである。この当たり前の生活を支えるために、何をどう支援したらいいのか職員は考え込んでしまう。しかしホーム利用者の中には見事に地域にとけ込んでいる人が何人もいる。その秘訣を職員が教えてもらいたいほどだ。(グループホーム 浅見)

役員会員募集

- ◎会費は一口、年1,000円
 - ◎会員には、新聞「そしん」が郵送されます。
 - ◎その他にも行事のご案内などをします。
- 会費の納入先

銀行振込は
中興信用金庫本店 011-0350220
横浜銀行大磯支店 651-1109788

郵便振替は
どこの郵便局でも 00270-0-19507
です。

□座名は
社会福祉法人素心会後援会

会長 鈴野七郎
※新しく会員になる方はご住所を
電話等で知らせていただくよう
お願いします。

事務局
〒259-0103
神奈川県中郡大磯町虫窪24番地
素心会後援会
TEL.0463-71-1255
FAX. 73-0009

役員紹介
**今回は会長の
鈴野七郎さんです**

鈴野さんは平塚市にお住まいで、鈴野損害保険事務所を経営しています。バリバリの現役です。

素心会のおつきあいは20年になり、暖かく大らかな人柄で後援会を

平成十三年
全国吟詠コンクール決勝大会
吟道統仙流師範 鈴野七郎氏

とめてきました。
詩吟の先生としても大活躍中で、多くの大会で優勝しています。

素心会後援会コーナー!!
福祉カレンター販売中

後援会の大きな事業である福祉カレンター販売がはじまっています。素心学院が大磯虫窪の地に移転新築した昭和40年代より、保護者、理事、後援会が毎年毎年つなげてきた事業です。資金面での応援はもうさんの事、人とのつながりをたくさん作り、つなげてきました。

1部 六〇〇円(寄付金含む)
五十部以上を人入れ材料

ご注文は FAX 0463-73-0009
TEL 0463-71-1255
素心会 後援会事務局まで

理事会の動き

第三三回理事会

- 平成15年3月1日(土)
- 一、グループホーム(つばきホーム)を大磯町国府新館に移転することが承認された。
 - 二、平成14年度補正予算について。単価改正等に伴う各会計の補正予算について原案のとおり承認されました。
 - 三、組織・職務権限規程について。地域支援センターの設置、支援費制度移行に伴う新体制作りに向けて改正案が承認されました。
 - 四、就業規則の改正について。新しく、賞罰委員会の設置を加える改正をしました。
 - 五、給与規程の改正について。給与表、賞与支給率、及び各種手当の改正等々具体的減額、抑制する方向で原案のとおり承認されました。
 - 六、平成15年度事業計画及び予算について、原案のとおり承認されました。

第三四回理事会

- 平成15年5月17日(土)
- 一、平成14年度事業報告及び決算について、原案のとおり承認されました。
 - 二、就業規則の一部改正について。三ヶ月単位の変形労働時間制を一ヶ月単位に改正しました。
 - 三、組織・職務権限規程について。職制として各課にリーダー又はチーフを置くことができるよう改正しました。
 - 四、給与規程の職務手当について。従来専任等に二五〇〇円とあるを、リーダー及びチーフについて同額とするに改めました。
 - 五、経理規程の特別会計に分類してある施設整備経理区分を一般会計に変更する改正をしました。
 - 六、施設整備に係る借入金限度額について。原案のとおり億円とすること承認されました。
 - 七、借入金に係る基本財産の担保提供について承認されました。
 - 八、平成15年度補正予算について。支援費制度、移行時の積立金等の処理他に伴う各会計の補正予算について、原案のとおり承認されました。

そしん会事業所アドレス

素心学院	神奈川県中郡大磯町虫窪24 E-mail: gakuin@mhsn-net.ne.jp	TEL. 0463 (71) 1255 FAX. 0463 (73) 0009
素心デイセンター	神奈川県中郡大磯町虫窪24 E-mail: sosin-dc@mhsn-net.ne.jp	TEL. 0463 (71) 1256 FAX. 0463 (71) 1284
さざんかホーム	神奈川県中郡大磯町国府本郷1308	TEL/FAX.0463 (64) 1519
つばきホーム	神奈川県中郡大磯町国府新館482-1	TEL/FAX.0463 (71) 0990
地域支援センター そしん	神奈川県中郡大磯町虫窪24 E-mail: chiki-s@mhsn-net.ne.jp	TEL. 0463 (70) 3577 FAX. 0463 (72) 2577

広報委員会より
第13回「心創展」の募集

平成16年2月4日(水)〜8日(日) 9時30分〜16時30分(最終日15時、平塚市美術館市民アートギャラリーにて)心創展を開催します。

陶芸・絵画・書道クラブの作品を多数出品する予定です。皆様のお誘い合わせの上、是非御来場ください。

学 院

GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN

六時二十分より利用者の皆さんがお待ちかねの盆踊りが大磯レクリエーション協会の皆さんのリードで始まり、炭坑節・東京音頭などの歌に合わせての周りを歩いている人、レクリエーション協会の皆さんの踊りを一生懸命まねている人、自分流に踊っている人などそれぞれ楽しんでいます。盆踊りが終わるとBの皆さんによるバンド演奏が始まり、六十年代のアメリカ



今年も八月二日(土)夕方六時より素心学院グラウンドにて素心会納涼祭が行われました。天気にも恵まれ、たくさんの方に参加いただき利用者の方も大変喜んでいました。五時三十分には模擬店が開かれ、やきそば・ハンバーガー・アイス・ジュース・ポップコーン・フランクフルトゲームコーナー・木工製品販売などそれぞれ思い思いの所へ行き満喫していました。終丁の時間が近づいた頃にデイスターの屋上より花火が打ち上げられそれを合図に終丁となりました。やきそばの模擬店をして頂いた厚木アクアラングクラブの皆様、準備の段階からお手伝いをして頂いた東海ワークキャンプの

納涼祭



カンポプスを中心とした軽快な音楽に合わせて皆さんの汗をかきながら一時間三十分延々と踊っていました。

又来年も皆様と楽しい時間が過ごせるような納涼祭にしたいと思います。(秋祭り担当 十井)



やぐらは共栄建設様の提供

缶ビールでVサイン



家族ペンリレー 重久のぶ(母)



重久篤博さん



素心学院

お話に承りますと、初代の坂田先生が素心山に第一歩から開設なされ、大先輩の有力な御父母様方が沢山の資金を支給の上、日夜を分かたすため努力努力の積み重ねられ、只今のあの明るく楽しい素心学院をお築になり、多勢の院生を受け入れて下さいました。その中の一人が私共となり、永年に亘り此の上ない幸の日々を送らせておられます。引きつづき献身的な、施設長並びに緒先生が、親兄弟にも及ばない広くて暖かいやさしい御手をさし伸べて下さいます。院生のためため御努力を捧げて下さいます。そして、先頭にお立ちになれる御父母方も揃っておやさしく御親切にそして、明るくたくましく元気一つは張り切っておいでなので知らず知らずの中に會員様が導きつづで固く結ばれて、到底一般の世界では見えない出来事な人生を私は見ることが出来ました。こんな御立派な皆様と巡り会い出来た事を、限りない幸と厚く改めて感謝申し上げて居ります。弱者の私共親子共々、何卒末長くお導き下さいますようにお願い申し上げます。

学 院

GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN GAKUIN

栄養士室で考えていること



素心学院の栄養士室をご存知でしょうか。女子寮一階廊下、壁にかけられた高木さんと沢井さんの絵の間にドアがあって、そのドアを入ったところが、調理師さんたちの事務所でそこを通り抜けると厨房が広がります。もしたら振り返ると「えっ。こんなところ？」という場所にドアが付いていて、そこが量一量ほどの栄養士室であります。なかなか人目につかない場所ではありますが、実はここで利用者にとって最も関心のある「食」が考えられています。北村栄養士に学院の「食」について意見を聞いてみました。



Q 今後に向けて
A 特になんば、質、脂質、糖質、カルシウムの摂取に気を使い、食のレベルから高齢化に配慮できる食事の提供が目標です。しかし、一方でそのことが味気なさに繋がらないよう配慮していきたいと思っています。パッキング食、行事食、選ぶ食事、手作りのおやつは是非継続していきたいと思っています。ポスターなどを使い情報提供を心がけ楽しみにできる食事を目指します。

Q 栄養士としての立場から気になっていること
A 平均年齢がほぼ五十歳、女性は五十歳以上が七割以上を占める状況にありまして、平均で栄養所要量を計算しますとかなり低くなっています。ただ一方で若い方もいらっしゃることを考えると集団給食という視点だけで考えていきにくい特性があります。

Q 今後生活習慣病(高血圧、糖尿病等)の増加が心配されます。また骨も弱くなり、ちよつとした転倒で骨折に繋がる心配も出てきています。缶コーヒーや、ジュースの摂取も肥満に結びつく因子として気になります。

素心学院では利用者が高齢化に伴い今年度から看護師を増員し、看護面でのケアの充実を図りました。

通院や入院する利用者が増えた中で看護師室はフル回転ですが、その成果は支援員からみても充分な手ごたえがあり、心強いばかりです。結城看護師に日ごろ気になっていることについて意見を聞いてみました。

「やはりどうしても高齢化による生活習慣病、肥満、骨の問題、歯の問題などが気になっています。専門医への受診はもちろんのことですがこれらの問題は、対処的に医師にかかっていくだけでは改善に繋がりません。学院の中で支援課、栄養士、調理師等との連携が不可欠になってきます。単に加齢と言っただけではなく運動、食事、歯磨き、睡眠そういった事柄からの影響が強いわけで、従って日常の配慮によつては改善も防止も可能になると考えられるのです。食事の内容、運動の提供、歯磨きの仕方そういった部分での具体的な取り組みを提案していきたいと考えています。

もう一つ気になっていることは、職員を気持の部分で頼っている方が多いということです。ほんの虫刺されでも診て欲しい、明らかに痛みは無いようでもシブシブをして欲しい、包帯を巻いて欲しい。見方を変えたら、多少具合が悪くても話相手になる、いたわりの声をかけてあげる、それでいい元氣になれる場合が多いのです。集団生活等からのストレスもたくさんあると思います。そのことを充分理解し、できる限り受容し、まず気持ちを満たしてあげたいと思っています。」



看護師室で考えていること



「またあしたも来てね！」
素心学院に生活している利用者も、朝は笑顔で迎え、夕は手を振って送ります。
赤い羽根の共同募金が、私共の事業を支えてくれています。皆様にご心よりお礼を申し上げます。
「ありがとうございます」

「今日も楽しい一日がはじまりますように」
「またあしたも来てね！」
素心学院に生活している利用者も、朝は笑顔で迎え、夕は手を振って送ります。
赤い羽根の共同募金が、私共の事業を支えてくれています。皆様にご心よりお礼を申し上げます。
「ありがとうございます」

三台のマイクロバス
神奈川県共同募金会からの配分金を受けて、この7月に立派なマイクロバスを購入することができました。
このバスは主に、素心デイセンターを利用する方の朝夕の送迎に活躍しています。
朝八時五十分、全部で三台のマイクロバスと一台のワゴン車が、素心を出発し、大磯町、二宮町、平塚駅、平塚西部の各まちあわせ場所へ向かいます。
「今日も楽しい一日がはじまりますように」

装画家誕生！

素心学院利用者の沢井博さんと高木芳子さんの人物画が連続して単行本の表紙に採用されました。

この本の筆者は、小野友貴枝さんで、長年にわたる執筆活動の実績が認められ、叢文社より全国に向けて出版されました。
ある時小野さんが、素心学院を訪れ、利用者の「絵」を大好きになり、「自分が編集する文学雑誌『風潮』のさし絵に取り入れてくれたことがきっかけです。」

書店でぜひ手にとってご覧下さい。すでに装画が女流作家の作品を一段とひきたてています。



沢井 博 作品



高木 芳子 作品



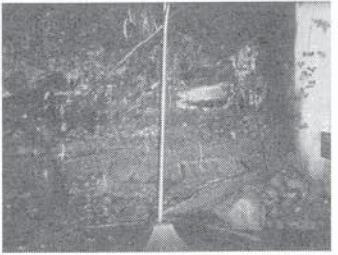
「教えない」という方針を、二十数年間にわたりつらぬき、お一人を含めた絵画クラブの利用者を、暖かく指導くださった（故）佐々木杜六画伯と美術家伊藤武臣氏に、ご報告し、感謝申し上げます。

お盆に乗った一枚のカード



端午の節句の日、食卓のお盆に一枚のカードが添えられていました！！
素心会は今年度より、給食業務を全面的に（株）レオックに委託しました。
これは、一括注文によるコスト

大雨で被害



素心会の敷地の一部が8月15日の豪雨で、小規模ですが崩れました。

当日、石が落ち、木が倒れて来たことを受け、消防署へ通報。早々に大磯町消防署員による現場視察、隣接地の側溝の整備と迅速な対応をして頂きました。
又、法人内には防災対策本部を設け、萩原施設長を隊長とし、泊り込での警戒に当りました。幸い翌日は雨も上り、被害は最小限にとどまり、ひと安心しました。
消防署等の素早い対応や、雨の中、かけつけてくれた保護者会長さんに感謝申し上げます。
「これ何？」と聞く人。だまっで返していく人。大事にポケットにしまっ人。
その日の食堂には、いつもよりたくさん、明るい声と嬉しそうなお顔がありました。

ボランティア



素心には団体・個人の方々がボランティアとして、作業クラブ、歩行補助、行事手伝い、楽器演奏など特技を生かした活動、シーツリース等々、利用者や交流を図るものからスタッフの補助をするものまでさまざまな活動にご協力を頂いています。ボランティアをしてくださる動機は「何らかの役に立ちたい」、「時間があるから」、「人とのふれあいが好き」、「身内での必要性を感じたことから」等、人それぞれ違うと思いますが、皆さん一様に同じだといえる事があり、それはいつも明るい笑顔で来所してくださる事です。そんな笑顔を心待ちにしている利用者の方も多く、どんな小さな物事にも一緒に共感してくれるボランティアアさんと会えるのを楽しみにしています。あとでボランティアの方から話を聞いて「へえーあの利用者さんがそんな事を!!」と、普段では見られないような表情、動作がある事に驚かされる事があり、ボランティアさんに対して職員とは違う接し方をしている利用者の方達をみると、外部との交流を持つことの大切さを感じます。また、我々職員にとってもボランティアの皆さんの存在は大きく、利用者に対するその純粋で真摯な態度はあらためて利用者の声に耳を傾ける姿勢の重要性に、ハッと気づかされる事もあります。写真は8月に行われた納涼祭の「コマです。大忙しでやきそば、アイス、ジュース等の模擬店を担当してくださった方、暑い最中汗をかきながら駐車場の誘導をしてくださった方、利用者の方で楽しいひとときが過ぎるよう配慮してくださった方等、こういうボランティアの皆様の活躍があつてこそ、行事のみならず施設の活動が広がっていきます。今後とも宜しくお願い致します。（ボランティア担当 内山）

支援センター

地域支援センター「そしん」オープン!!



平成15年10月1日より、素心会の事業として「障害児者地域療育等支援事業」を神奈川県より委託し開始いたしました。
この事業は、主に在宅で生活する障害を持つ方と、そのご家族の様々な悩みや困っている事についての相談を受け、ご本人やご家族といっしょに、解決の糸口をさがす事業です。
その他にも、次のような取り組みを行なうことになっています。
・関係機関との調整
・ケア会議の開催
・広報紙の発行
・訪問による健康検査
・作業所、保育園等の支援
・ボランティアの育成
・学習会の開催 等
相談にかかわる皆様の個人情報厳格に守ることを約束します。
又、費用は県の補助金によりまかなわれ、皆様のご負担は何もありません。
どうぞ、お気軽にご利用下さい。

相談窓口の概要

名称 地域支援センター「そしん」
☎ 0463-70-3577 住所 〒259-0103
090-6924-3890 神奈川県中郡大磯町虫窪24
FAX 0463-72-0577 素心学院作業棟2F
Eメール chiki-s@mh.scn-net.ne.jp 相談員 鈴木 綾子 他



大磯町総合相談窓口業務近況！

四月にオープンした「大磯町横溝記念障害福祉センター」の相談窓口業務の受託事業をはじめ、半年がたちました。大磯町の職員とともに様々な相談を受け、連日、西へ東へ忙しく回っています。
四月から九月までの相談件数は五十二人で延べ二四六件になりました。
行政と法人の二三人の総合相談窓口のあり方は、県下でも例が少なく注目されています。



尚、この事業は、原則として湘南西部障害福祉福祉圏域の、大磯町、二宮町、平塚市、秦野市、伊勢原市にお住いの方を対象としております。
よちよち歩きのスタートですが、皆様よろしく願っています。